第17回ジャビットカップ文京区大会

◇主　　催　　文京区少年軟式野球連盟

◇後　　援　　読売巨人軍

☆実施日　　開会式　　※当大会での開会式はなし

試　合　　６月５日（日）以降適宜実施

閉会式　　※別途日程調整後、簡易開催とする

☆大会会場　　文京区六義公園運動場

☆参加資格　　・小学６年生以下で構成された少年軟式野球チーム

・スポーツ安全保険に加入している選手で構成されたチーム

☆大会業務　　主催・後援　－　賞品の準備（金・銀メダル、優勝カップ、準優勝カップ、賞状）

参加賞、最優秀選手賞、試合球の準備

事　務　局　－　募集と案内、トーナメント表作成、試合の記録・運営

父母会有志　－　審判への飲物サービス、救護

チーム有志　－　テント、テーブル等の本部席設置

※大会実施日は出場チーム１名以上、適宜会場設営にあたること

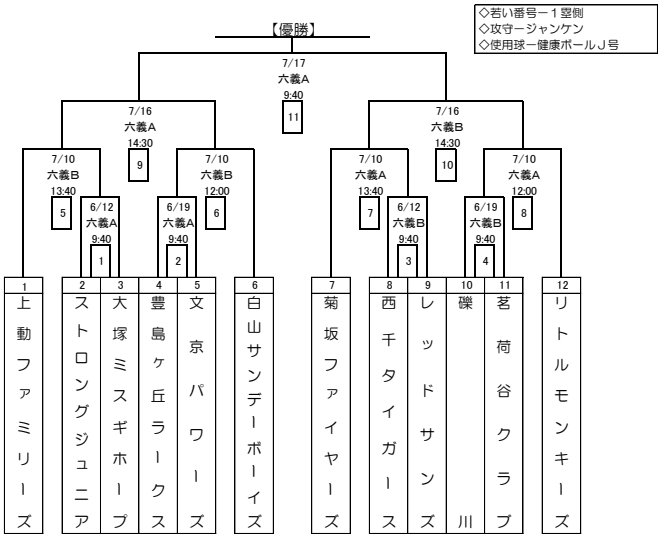
☆表　　彰　　優勝チーム　　優勝カップ、賞状、金メダル、本大会出場権（８月）

準優勝チーム　　準優勝カップ、賞状、銀メダル

第３位（２チーム）　賞状

最優秀選手賞　　記念品

参加賞　　記念品



【試合方法】

① 試合時間は、試合開始から１時間２０分を過ぎたら新しいイニングに入らず、均等回の得点で勝敗を決める。
勝ち逃げ禁止ルールは適用しない。ただし準決勝・決勝戦は１０分延長した時間制限とする。
決勝戦における１回裏守備の選手紹介時にはタイマーを止めて行う。
雨または日没の場合、４回終了にて成立。不成立の場合は再試合。

② 試合は６回までとする。同点の場合はタイブレーク方式を行う。
タイブレーク方式は最大２イニングまでで、勝敗が決しない場合は抽選によって決定。
ただし決勝は勝敗が決するまで、タイブレーク方式を行う。
《タイブレーク方式》継続打順で無死一・二塁の状態で行う。走者は前回の最終打者を一塁に、二塁は前の打者とする。

③ ４回以降７点差にて決勝戦を含めコールドゲームとする。
また、２０点以上差が出た場合は、選手の健康管理を考えて全試合をコールドゲームとする。

④ 投手の投球制限を以下に定める。
《投球上限数》　学童高学年：70球
《投球制限》　投手投球数は１日の投球上限数以内とし、同投球球に達した場合は当該打者が打撃完了する迄投球が出来る。また一度投手を退き野手となった場合、投球上限数に達していなければ再登板が出来る。
なお、学童４年生以下の投手について、本投間16メートルの投球を一切禁止とする。

⑤ 選手は30分前に集合し、監督はメンバー表を速やかに提出のこと。

⑥ 試合中は、バッター・ランナー・コーチャーボックスは必ずヘルメット着用のこと。
捕手は防護用ヘルメット、マスク（スロートガード付）、ファールカップを着用すること。
また、六義公園運動場において、Ａ面・Ｂ面双方試合実施の際は、Ａ面左翼手・Ｂ面右翼手もヘルメット着用、
攻守交代時の外野手によるキャッチボール等守備練習を禁止する。

⑦ 選手の背番号は０～９９番までとし主将は１０番とする。監督は３０番、コーチは２８・２９番としそれ以外は認めない。

⑧ ユニフォームと帽子は全員が同色・同形、同意匠、ストッキングとアンダーシャツは全員が同色であること。
選手、監督・コーチ共にパンツの裾上げスタイルを原則とし、ロングパンツ（裾にゴムの無いもの）やストレート
パンツの着用は認めない。

⑨ 試合上の抗議権は、監督と当事者の１名とする。

⑩ ベンチ内は各チームで登録してある監督・コーチ、責任者・スコアラー、給水係保護者（2名）の計8名と選手に限る。
なお、指導者のユニフォーム着用は監督・コーチの３名以内、責任者・スコアラーはチームの帽子を着用すること。

⑪ 試合中、選手の健康管理を考えて担当審判員、または大会本部の判断で給水タイムをとる場合がある。
この場合、給水に要する時間は試合時間に含めない。

【出場失格】

① チーム編成に不正行為があった場合。

② 試合時間に遅れた場合。

【注意事項】

以下の記述に於いて、「運動場」とは六義公園運動場全体（グラウンド・管理棟を含む）、「グラウンド」とは
ネット内側（試合を行う場所）とする。

① 会場内の駐車は連盟駐車場許可証を提示した車両のみとし、参加チームの車両の会場内への乗入れは不可とする。
なお、運動場の公園側出入口、管理事務所側出入口付近をはじめ、会場付近での乗降及び路上駐車も不可とする。

② ゴミ、空缶等は各チームが責任をもって持ち帰ることとし、保護者の皆様にも徹底すること。

③ 運動場・公園内のほか、運動場の公園側出入口、管理事務所側出入口付近等をはじめ周辺地域での路上喫煙は、
条例の定めにより禁止とする。

④ 試合以外で運動場内でのバット・ボール等の使用及び素振りは事故防止のため禁止（ストレッチや準備運動は除く）とする。

⑤ 試合後のグラウンド整備は、試合が終わった両チームが行うこと。ライン引きは審判部が担当する。

⑥ 六義公園運動場・後楽少年野球場ともに会場への九時以前の選手集合を禁止とする。

⑦ 攻守交代後の投球練習時において、控え選手が捕手を行う場合、ヘルメットとマスクを必ず着用する。
※用具を共有する際は、消毒を徹底すること。

⑧ 第一試合開始前のシートノックは、各チーム五分以内に行うこと。
※シートノック時にノッカーの周囲にいる選手はヘルメットを着用すること
※第二試合以降は、原則として試合開始前のシートノックは行わない

⑨ 本大会申込後の選手の追加登録は自チーム初戦のメンバー表提出までとし、スポーツ安全保険は必ず加入していることとする。
試合開始後の該当試合に対するメンバー追加がある場合は、メンバー表に追加選手を記載し審判員に報告・提出し承諾を得ること。

⑩ 各チーム応援旗はグラウンド外側へ掲示、保護者応援はベンチより外野側にて行うこと。なおベンチ、応援共にメガホンの使用を
終日禁止とする。

⑪ 来賓、連盟役員、審判部・審判当番以外の方の大会本部への不必要な立入を禁止する。

【新型コロナウィルス対策に関する特別注意事項】

① 試合当日、チームは選手及び指導者等の検温結果や健康状態を把握、試合への出場（参加）可能か否かを判断する。
※試合出場選手・大会運営スタッフ・試合観戦をする保護者は、試合当日2週間前から体調管理を行うこととし、試合毎にベンチ
入り選手・指導者、投球カウンター係等全員の「健康チェックシート」を大会本部へ提出する事。
※試合観戦をする保護者・ご家族の上限はなし、「健康チェックシート」の提出を不要とするが、三密を避けた観戦に努めること。

② 大会会場への移動は徒歩、自転車、公共交通機関の利用を推奨する。

③ 大会関係者・試合該当チーム以外の運動場への入出場を原則禁止することとし、次試合チームの会場入りは試合開始予定時刻の
30分前、メンバー表提出も同時刻とする。また、試合終了後は速やかにグラウンドを退出すること。

④ 運動場への入出場について、各チーム選手・指導者等、応援者は公園側木戸出入口のみの利用とする。
※大会期間中、運動場における公園側出入口の利用を一切禁止する。
※自転車で来場された方は管理棟事務所裏側の駐輪場へ駐輪後、公園側木戸出入口から入出場する事。

⑤ 熱中症予防等のための水分補給を除いて運動場内での食事を禁止とする。
※運動場での手洗い・うがい・消毒の励行を徹底する。

⑥ 選手・審判・大会運営スタッフ、応援者等含めて全員マスクを持参・着用とするが、試合中の選手のマスク着用は自由とする。

⑦ 優勝旗・優勝杯の返還は当該チームの第一試合前とする。

⑧ 試合開始時、試合終了時の整列は行わず、選手はベンチ前に整列し挨拶を行う。

⑨ 円陣・エールの交換は行わない。

⑩ ベンチ、応援団共に応援歌は禁止とし、大声での声援は控える。

⑪ 試合中に審判員へのお茶出しはしない。

⑫ 試合終了後２週間以内に監督・コーチ、選手及びその同居家族が新型コロナウイルスに感染したことが判明した場合、
文京区少年軟式野球連盟に対して速やかに連絡し、区や保健所の指示に誠意をもって対応すること。

⑬ 選手の大会参加は任意として、決して強制する事のないよう、保護者への説明をお願いする。

⑭ 緊急事態宣言の発令や感染状況の拡大等により、大会の中止・縮小の場合があるため、その際は区・連盟の指示に従うこと。

令和４年５月
文京区少年軟式野球連盟